

# FMアップルウェーブ 第118回放送番組審議会

開催日時 令和元年12月16日(土) 18:00~19:00

開催場所 土手町コミュニティパーク(弘前市土手町)

出席委員 委員長 佐藤 信隆、副委員長 鳴海 清彦  
委員 佐藤 浩之、渋谷 拓弥、高村 智子、檜山 史子、佐々木 裕和、鹿内 あかり

会社側出席者 代表取締役社長:清藤 哲夫、専務取締役:一戸 勝美、取締役:倉田 正直  
放送部総括マネージャー:花田 由香子、チーフ:玉田 雅規

議題 (1) 番組に対する意見要望  
(2) 次回開催日について 3月14日(土)

○ 各委員が質問と意見や気が付いた点を述べる形で議事が進行した。

## 1) 課題番組

### 『ライスボールのライスHOME』

- ① メンバーの仲の良さ、歌唱力の高さが伝わる番組。ファン向けの番組なのだろうが、農家の方やファンでない方も聴いても楽しめる番組作りを。青森県に遊園地が無いことを話題にしていたが、高校生らしい会話で共感が持てた。地元の高校生がかつやくしているの、そういった話題を同年代の彼女らが取り上げたらいいのでは。
- ② 自分たちの楽曲をリリース日に近い放送回でしか語っていないが、毎回流してもいいと思う。曲に関して語っている時間が一番聴きごたえがあった。ファンの満足度を上げる作り方をしてもよい。「ちゃんとした動物園が欲しい」との発言があったが、配慮すべきだった。
- ③ 遊園地やドームが欲しいといった、空き地の活用方法について高校生が考えている、という話題が興味深い。若い世代ならではの発想で実際に参考になりそうな話だった。ご当地アイドルの素顔が垣間見える番組でかつ今後地元の活性化につながる話題が盛り上がりやすいのでは。
- ④ 高校生3人で、よくできているなあという印象。仲の良さ、チームワークが伝わってくる。即興ソングのやりとりはくだらないのが面白い。『ライスボール』というおにぎりに関連するユニット名だからこそ農家に忖度した話題の持っていくき方でもいい。もっとそういった話題を取り上げるべき。
- ⑤ 歌唱力の高さが伝わり、ギターも演奏していること員は驚いた。口調も高低差なく聞きやすい話し方。技術的な部分は経験を積んで今後に期待したい。グループのコンセプトに合った、家庭的な雰囲気でのほのぼのとした気持ちで聴くことができた。
- ⑥ 歌は上手、即興も上手だった。グループ内用語は聴いていて辛いものがある。四文字熟語を読めないまま放送していたが、事前に調べるか、スタッフがリビを振っておくべき。自宅周辺の話をしていたが、個人情報か特定されかねないので注意すべき。
- ⑦ 番組内でもっと農業・コメの話題があるべき。コンテンツが詰めこまれすぎなのでひとつひとつのコーナーを丁寧に、ゆっくり進められるような番組構成にしては。グループを知らない人が途中から聴いても入りやすいように、毎回グループと個人の丁寧な紹介があってもよい。コメや食に関することにもっと触れれば「ライスボール」らしさが出ると思う。
- ⑧ 2回分の放送を聴いても番組のテーマがつかめない。若い子たちがわいわいしているだけで、筋書きが無い。リスナーのターゲットが、同年代女子なのか、地域住民なのかが見えず、年配男性は次回また聴きたいと思うとは考えにくい。「聴いてもらえる番組に」と受け身の発言。次回に期待感を持たせるような、自信を持った番組にしてほしい。

### 【審議機関の答申または改善意見の公表】

- 1) 議事録を本社に配備し、社内各部署に配布
- 2) FMアップルウェーブのホームページに掲載

## 議事の概要